

1 利用環境(PLATEAU ポータルサイト引用)

【OS】

Windows、macOS、Linux、Chrome OS、iOS、Android

【ブラウザ】

Chrome 109+、Firefox 102+、Safari 16+ (macOS のみ)

Microsoft Edge (Chromium 版) 109+、iOS (15+) Safari、Android (12+)

Chrome

【マシンスペック】

○最低

・Intel core i5

・RAM:16GB

○推奨

・Intel core i7

・RAM:32GB

【ネットワーク】

3D 都市モデル等のデータダウンロードに十分なネットワーク環境

(ダウンロード:50Mbps 以上等)

2 操作手順(例:建築物モデルと浸水想定区域モデルを確認する。)

(1)国土交通省ホームページ「PLATEAU View」をクリック。

3D都市モデルは、多様なデータと組み合わせることで、まちづくり、防災、地域活性化・観光、インフラ維持管理、交通・物流、環境・エネルギー等、多様な分野シミュレーションや分析・解析をすることができます。

令和6年度に作成したユースケース

災害リスク情報の可視化



(洪水浸水想定可視化) (土砂災害危険区域可視化)

どなたでも自由に閲覧・利用ができます

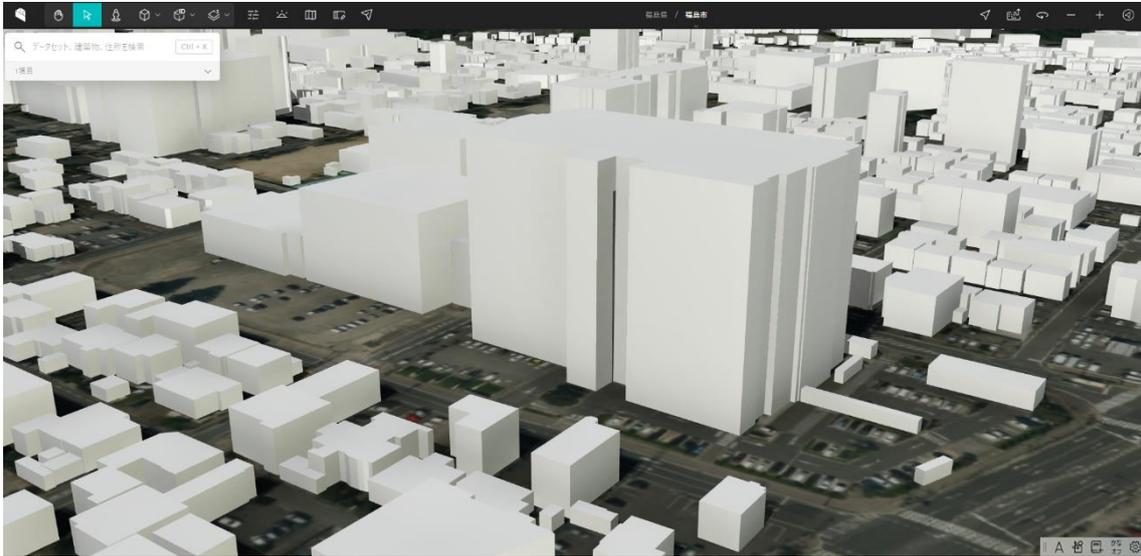
- 3D都市モデルは国土交通省「PLATEAU」のWeb内の「PLATEAU View (プラトービュー)」で公開され、自由に閲覧することができます。
[国土交通省ホームページ「PLATEAU View」\(外部サイトへリンク\)](#)
「PLATEAU View」の使いかた (PDF) (1.5MB) (外部サイトへリンク)
[国土交通省ホームページ「PLATEAU View」使い方 \(外部サイトへリンク\)](#)
- ※必要環境 CPU: Intel core i5, RAM: 16GB
- ※推奨環境 CPU: Intel core i7, RAM: 32GB

● 整備した3D都市モデルデータは、G空間情報センターでオープンデータとして公開されており、どなたでも自由に利用することができます。

(2)初期画面

(1)の URL を開くと、福島市役所が中心に表示されます。

※国土交通省の PLATEAU ポータルサイトから開くと東京駅が初期画面で表示されます。

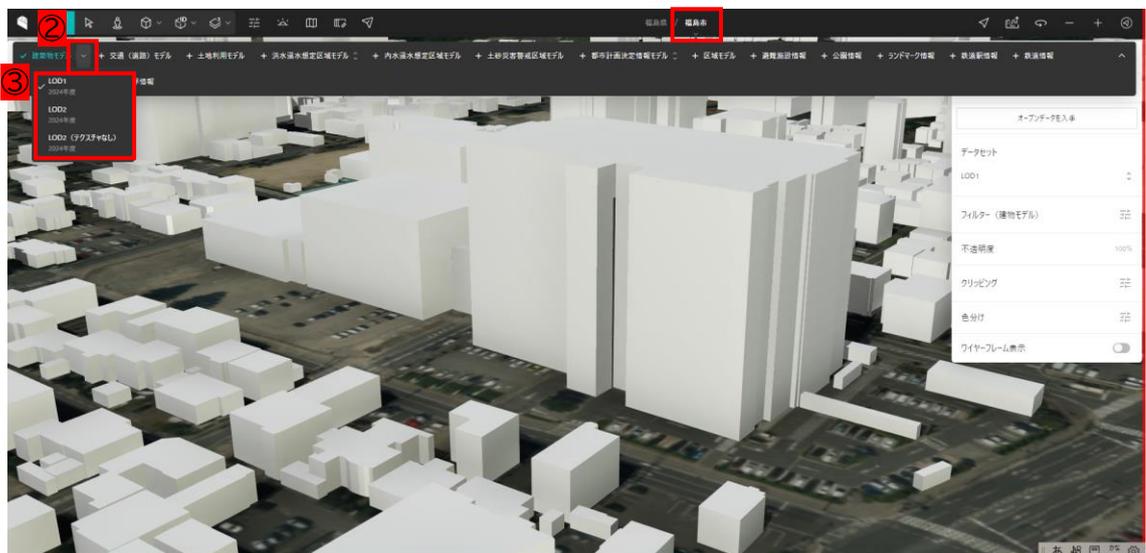


(3)建築物モデルの再現性を変更する方法

①上部ツールバーにある「福島市」をクリック

②展開された詳細なツールバーで建築物モデルの左にある ▾ をクリック

③建物の再現度を変えることができます。



※LOD2 は壁面の色合いが再現されますが、使用環境を満たさない場合、動作しない場合があります。

(4)建築物の属性を確認する

3D 都市モデルでは、建築物モデルに対して属性情報(用途、高さ、面積など)を付与しているため、建物ごとに情報を確認することができます。

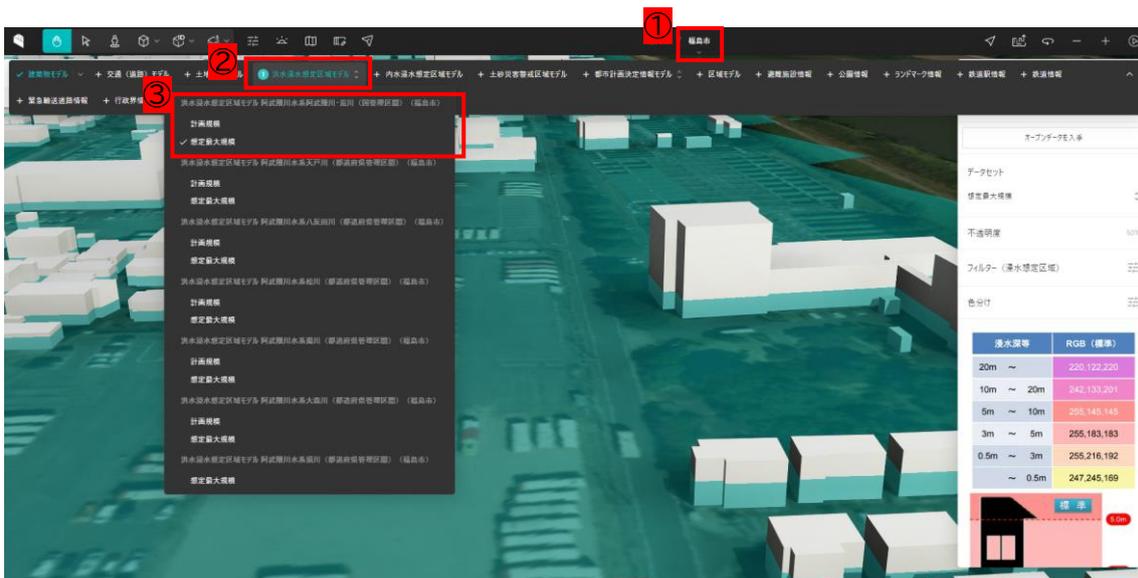
- ①「選択」  をクリック
- ②確認したい「建築物」をクリック
- ③建築物の属性が表示される。



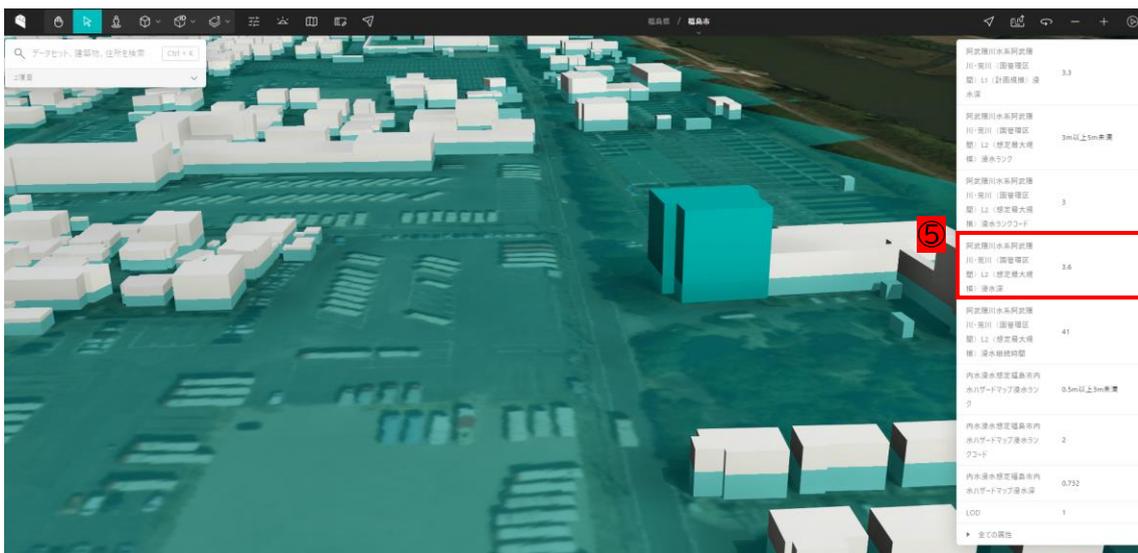
(5) 様々な情報を重ねて見る

例) 洪水浸水想定区域モデル(阿武隈川・荒川)

- ①画面上部ツールバーにある「福島市」をクリック
- ②展開された詳細なツールバーにおいて「洪水浸水想定区域モデルを選択」
- ③「洪水浸水想定区域モデル(阿武隈川・荒川)」の洪水の規模を選択
【計画規模(50~150年規模), 想定最大規模(1000年規模)】
- ④建物に対しての想定浸水深を視覚的に確認できます。

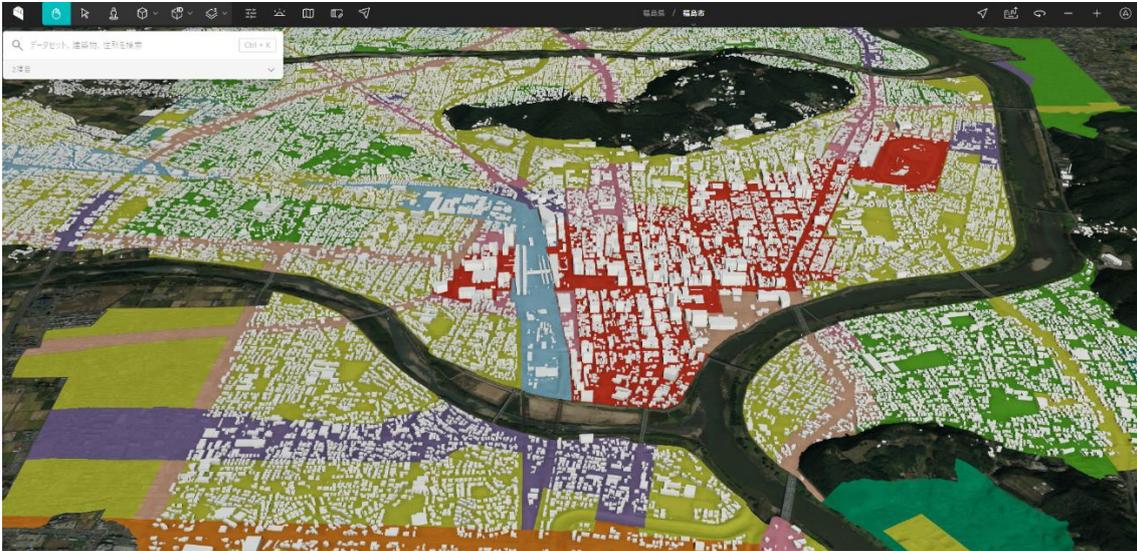


- ⑤ (4)同様の方法により建物属性情報から規模に応じた浸水深を確認することができます。

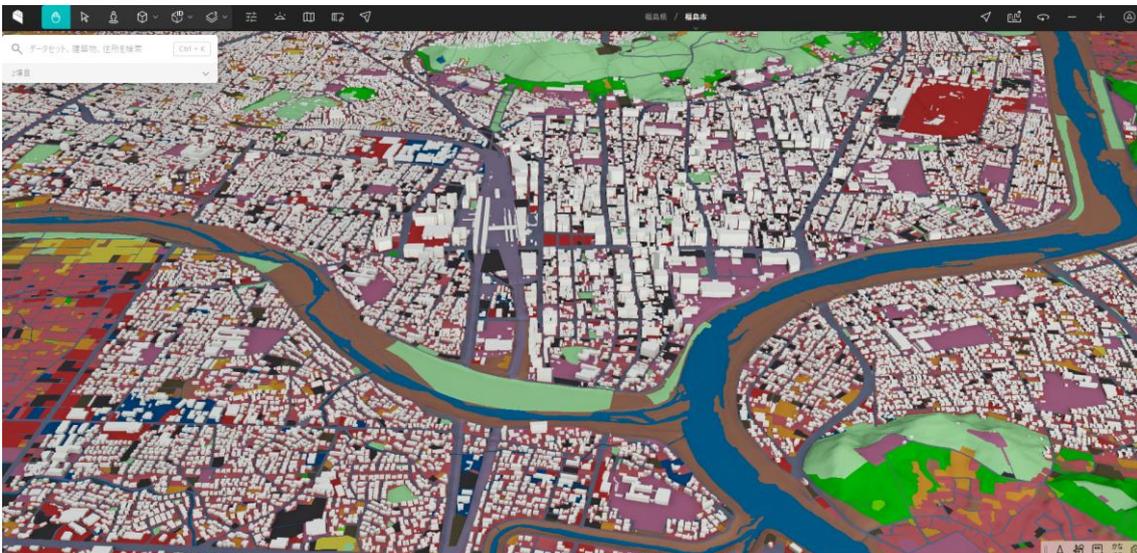


3 様々な情報を重ねて見ることができます！

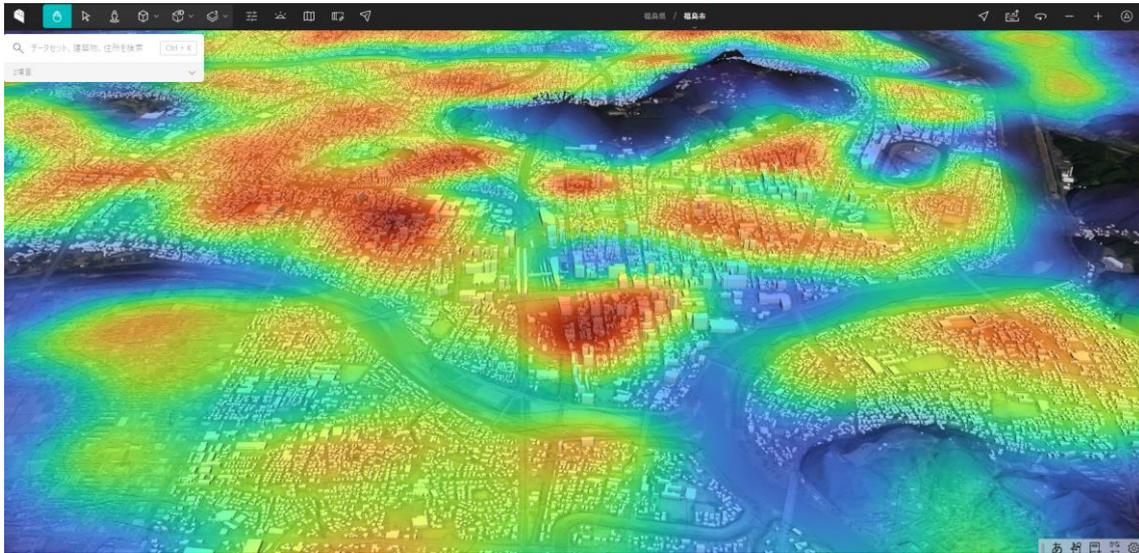
①用途地域などの都市計画決定情報



②土地利用状況



③人口統計データ



4 PLATEAU View のより詳細な、高度な使用方法は、国道交通省のホームページをご確認ください↓

[・TOPIC 2 | PLATEAU VIEW で体験する\[1/2\] | 3D 都市モデルをブラウザで利用](#)

[・TOPIC 2 | PLATEAU VIEW で体験する\[2/2\] | 他の地理空間情報を重ねて確認](#)